

第2次茅野市スポーツ推進計画 2024 - 2028

すべての市民が「市民スポーツ」によって
豊かなスポーツライフで生涯を楽しく健康に生きる

長野県 茅野市・茅野市教育委員会

目次

第1章	茅野市スポーツ推進計画について	1
1	計画策定の趣旨	
2	計画の位置付け	
3	計画期間	
第2章	茅野市スポーツ推進計画の基本理念について	2
1	スポーツ基本法の基本理念	
2	長野県スポーツ推進計画の基本理念	
3	茅野市スポーツ推進計画の基本理念	
第3章	基本目標と施策の展開	3
1	施策の展開	
2	指標、達成目標の考え方	
	体系図	4
	基本目標1 「地域における子どものスポーツ機会の充実」	5
	基本目標2 「ライフステージに応じたスポーツ活動の充実」	13
	基本目標3 「市民が主体的に参画するスポーツ環境の整備」	16
	基本目標4 「スポーツの果たす役割の活用」	21
第4章	計画の推進	24
名簿		25

第1章 茅野市スポーツ推進計画について

計画策定の趣旨

茅野市では、2018年3月に策定した「茅野市スポーツ推進計画（第1次計画）」（2018～2022）で掲げた「すべての市民が豊かなスポーツライフで生涯を楽しく健康に生きる ～『市民1スポーツ』による体力向上とスポーツを支える活動に参画するために～」を指針として、各々のライフステージやライフスタイルに応じたスポーツの推進及び定着、またスポーツによる地域経済の活性化など、様々な施策を通して地域スポーツの興隆に取り組んできました。

第1次計画期間中には様々な社会の変化がありました。特に、2020年から世界規模で急速に拡大した新型コロナウイルス感染症の影響により、地域のスポーツ活動は大きな制限を受け、体力の低下やスポーツによる学校や地域社会の交流の低下など、あらゆる世代の日常生活に多大な悪影響を及ぼしました。そのような社会活動全般の停滞を経験することで、スポーツには、日々の生活や社会に活力を与える力があるなど、優れた力や価値を再認識することとなりました。

自発的なスポーツ活動を通じて「楽しさ」や「喜び」を得ることは、市民一人ひとりの生活や心を豊かにするといった「ウェルビーイング（※1）」の実現につながります。

また、スポーツは、人と人との交流及び地域と地域との交流を創出し、地域の一体感や活力を生み出す力を持っています。

このようなスポーツの持つ力や価値を発揮することで地域社会をより豊かにしていくために、今後5年間に於いて、茅野市が推進していくスポーツの施策の指針として、新たに「第2次茅野市スポーツ推進計画」を策定しました。

※1 ウェルビーイング（Well-being）とは、Well（よい）と Being（状態）が組み合わさった言葉で、「よく在る」「よく居る」状態、心身ともに満たされた状態を表す概念。

計画の位置付け

本計画は、スポーツ基本法第10条第1項において、「国のスポーツ基本計画（第3期スポーツ基本計画）を参酌して、その地方の実情に即したスポーツの推進に関する計画を定めるよう努めるものとする」との規定に基づく「地方スポーツ推進計画」です。また、「茅野市総合計画」及び「茅野市教育大綱」に掲げる方針に基づいて策定する、今後の茅野市の地域スポーツを推進していくための分野別計画です。

計画期間

第1次計画の計画期間は2018～2022年度となっていましたが、2022年度に「第5次茅野市総合計画」の中間見直しが行われ、第5次総合計画を全面改訂し、2024年度を始期とする第6次総合計画を策定することとなったことから、第6次総合計画の策定状況を勘案し、第1次計画については1年延伸しました。このため、第2次計画は2024年度を初年度とし、2028年度を目標年度とする5年間を対象とします。

第2章 茅野市スポーツ推進計画の基本理念について

スポーツ基本法の基本理念

これまで日本のスポーツ文化は、スポーツ振興法（1961年制定）の下で、国民の身近なものとして発展し、心身の健全な発達や明るく豊かな国民生活の形成に寄与してきました。

同法の制定から半世紀が経過し、プロスポーツや障害者スポーツの発展、国際化の進展などスポーツを巡る状況は大きく変容しました。スポーツの価値や社会的役割の重要性もさらに高まる中、本則の冒頭で「スポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことは全ての人々の権利である」とスポーツ推進の理念を明文化したスポーツ基本法が2011年に制定されました。

長野県スポーツ推進計画の基本理念

このスポーツ基本法の理念に沿うように、長野県は県民のスポーツに対するニーズの変化への対応や、多方面におけるスポーツの価値の積極的な活用など、長野県の地域の特性を生かしながら、長野県の今後のスポーツの推進の方向性や施策を長野県民に伝えるため、2013年に「長野県第1次スポーツ推進計画」を、2018年に「第2次長野県スポーツ推進計画」を、2023年に「長野県第3次スポーツ推進計画」を策定しました。

茅野市スポーツ推進計画の基本理念

スポーツには一人ひとりの生活をより豊かに、そして健康にする力があります。そして、スポーツ基本法の理念にあるように、幸福で豊かな生活を営むことは誰しものが望むことです。

競技スポーツ分野でトップレベルを目指し切磋琢磨するアスリートから、健康増進をテーマに日常のスポーツを楽しむ一般層まで、すべての市民が「市民1スポーツ」を合言葉に、生涯を通じて「いつでも」「どこでも」「いつまでも」1つ以上のスポーツに親しみ、継続的に楽しむことで、豊かなスポーツライフを実現することを目指し、そのことを通じて心身共に健康で幸福な生活を過ごすことを本計画の基本理念とします。

**すべての市民が「市民1スポーツ」によって
豊かなスポーツライフで生涯を楽しく健康に生きる**

第3章 基本目標と施策の展開

施策の展開

基本理念である、「すべての市民が『市民1スポーツ』によって豊かなスポーツライフで生涯を楽しく健康に生きる」の実現に向けて、次の4つの基本目標を設定しました。それぞれの基本目標に、その実現に向けた具体的な取組を「施策の展開」で示すとともに、その基本目標の達成状況を測るための「目標・指標」を設定しました。

幼児期から高齢期までのライフステージに応じたスポーツ活動の推進により、生涯にわたってスポーツを楽しむ地域スポーツ文化が根付くことを図り、そのことによって地域のスポーツ人口の裾野が広がっていき、競技人口が増えることを目指します。

基本目標1 地域における子どものスポーツ機会の充実

- 1 幼児期からの運動の習慣化
- 2 子どものスポーツ活動への参加促進
- 3 中学校の運動部活動の地域移行

基本目標2 ライフステージに応じたスポーツ活動の充実

- 1 親子参加型スポーツ体験の充実
- 2 身近な場所で気軽にスポーツを行う取組
- 3 障害者スポーツの参加機会の拡大と理解促進
- 4 高齢期のスポーツ活動の促進

基本目標3 市民が主体的に参画するスポーツ環境の整備

- 1 スポーツ推進委員及びスポーツリーダーの認知向上
- 2 NP0 法人茅野市スポーツ協会を中核としたスポーツ関連団体の活動の活性化
- 3 各種スポーツ団体等による競技力向上
- 4 スポーツ施設の計画的な修繕
- 5 スポーツ施設の在り方についての議論
- 6 市民に親しまれる公園としての環境整備
- 7 公共施設の有効活用
- 8 公共施設の利便性の向上

基本目標4 スポーツの果たす役割の活用

- 1 スポーツ合宿の誘致を通じた地域経済の活性化
- 2 地域の独自の魅力を通じたスポーツの活性化
- 3 2028年国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会をはじめとした各種スポーツイベントの開催に向けた取組

指標、達成目標の考え方

基本目標の達成度を評価するにあたり、客観性確保のために数値による指標を設定しています。

計画の評価にあたっては、数値による指標のみで行うのではなく、目標達成に向けた各施策の取組状況を総合的に勘案して、評価を行います。

第2次茅野市スポーツ推進計画 体系図

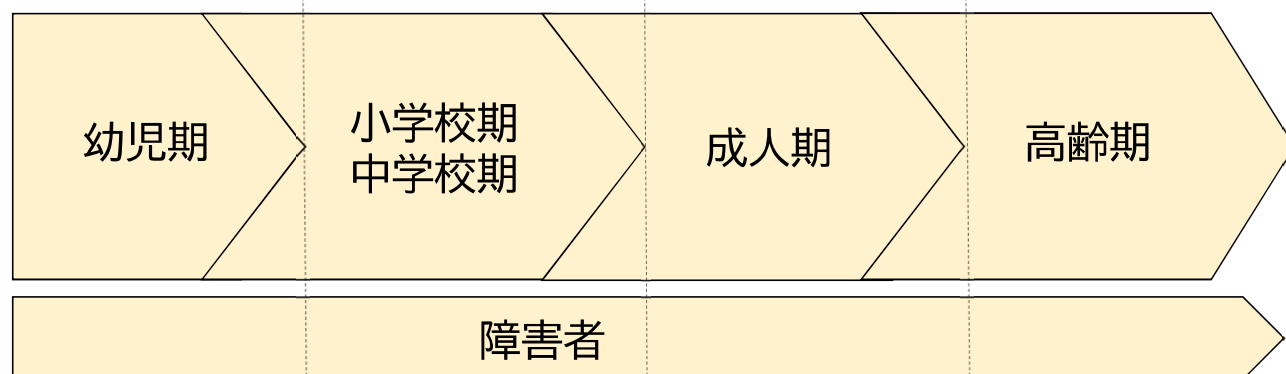
すべての市民が「市民1 スポーツ」によって
豊かなスポーツライフで生涯を楽しく健康に生きる

基本目標1 地域における子どものスポーツ機会の充実

- 幼児期からの運動の習慣化
- 子どものスポーツ活動への参加促進
- 中学校の運動部活動の地域移行

基本目標2 ライフステージに応じたスポーツ活動の充実

- 親子参加型スポーツ体験の充実
- 身近な場所で気軽にスポーツを行う取組
- 障害者スポーツの参加機会の拡大と理解促進
- 高齢期のスポーツ活動の促進



基本目標3 市民が主体的に参画するスポーツ環境の整備

- スポーツ推進委員及びスポーツリーダーの認知向上
- NPO法人茅野市スポーツ協会を中核としたスポーツ関連団体の活動の活性化
- 各種スポーツ団体等による競技力向上
- スポーツ施設の計画的な修繕
- スポーツ施設の在り方についての議論
- 市民に親しまれる公園としての環境整備
- 公共施設の有効活用
- 公共施設の利便性の向上

基本目標4 スポーツの果たす役割の活用

- スポーツ合宿の誘致を通じた地域経済の活性化
- 地域の独自の魅力を通じたスポーツの活性化
- 2028年国スポ・全障スポをはじめとした各種スポーツイベントの開催に向けた取組

基本目標 1

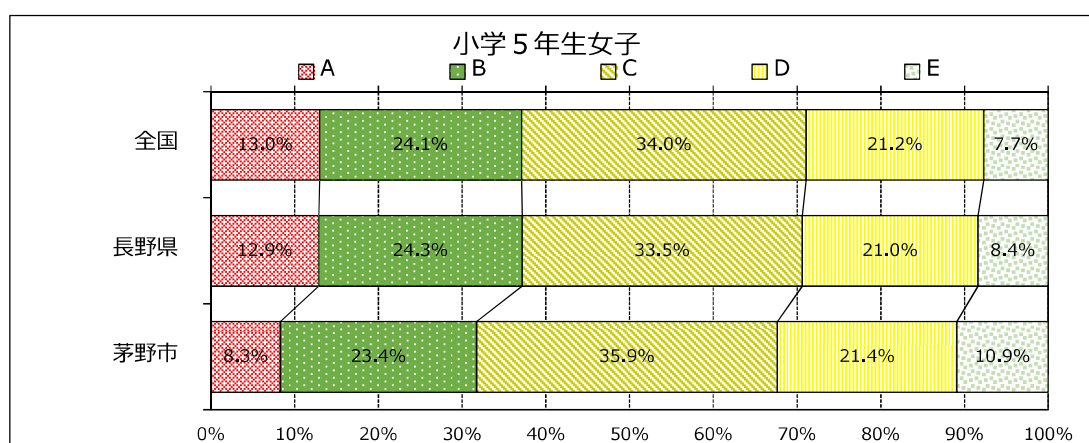
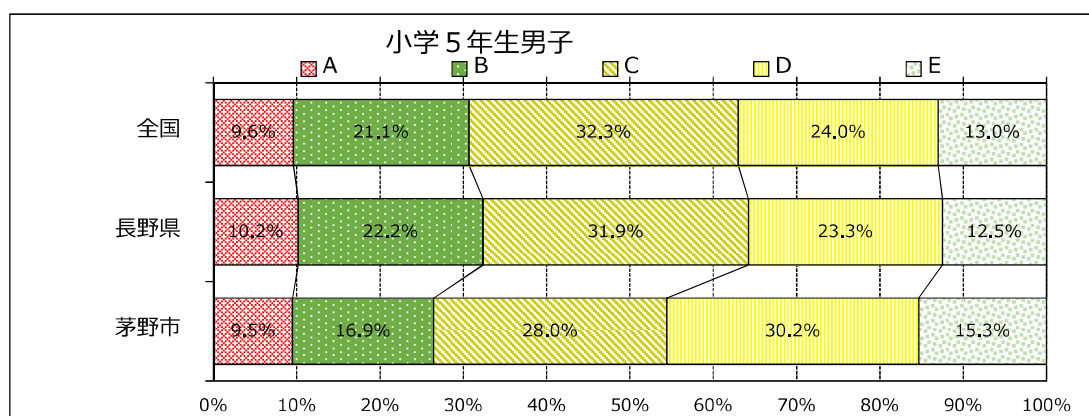
「地域における子どものスポーツ機会の充実」

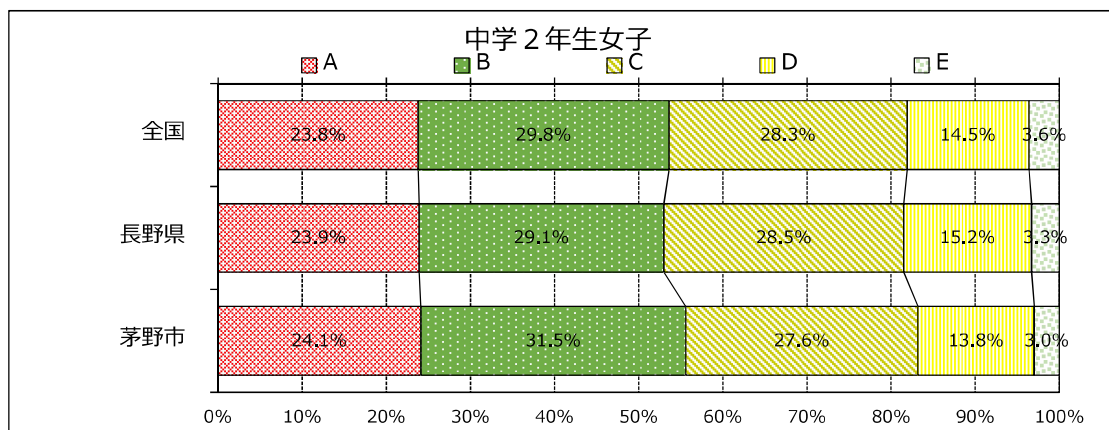
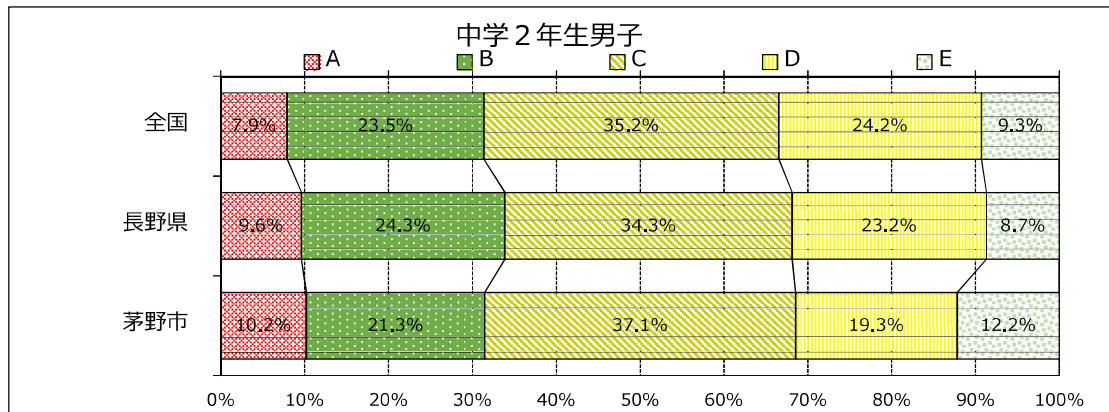
1-1 主な現状と課題

○ 子どもの体力の低下

第1次計画の中でも危惧されていた小・中学校男女の体力合計点は全国的に低下しており、茅野市でも同様の傾向が続いています。また、小学5年生男女の全国体力テストの総合評価（※2）は全国平均及び長野県平均よりも低くなっています。体力は人間の活動の根幹であり、身体の成長や健康に限らず意欲や気力といった精神面の充実に大きな影響を与え、豊かな人間性や自発的な学ぶ力や思考力といった「生きる力」の重要な源となるものであることから、子どもが自ら進んで動きたくなるような取組や環境整備等により、茅野市の子どもの体力向上を図っていく必要があります。

令和4年度（2022年度）全国体力テスト 総合評価





(※2) 全国体力テストの総合評価とは

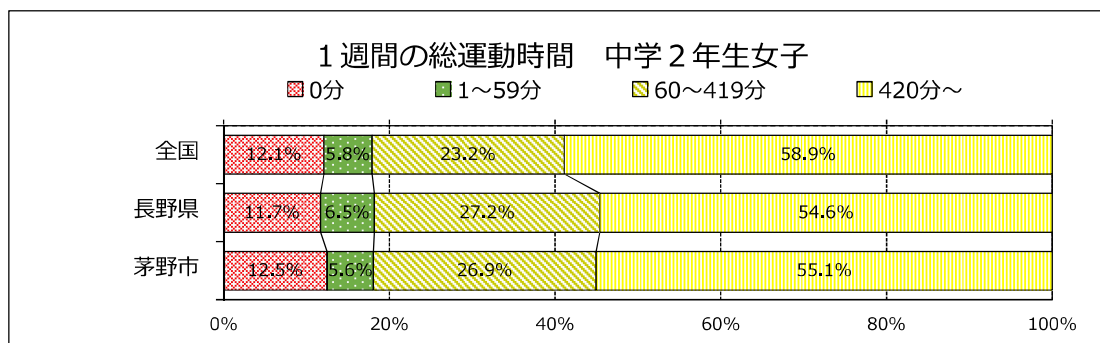
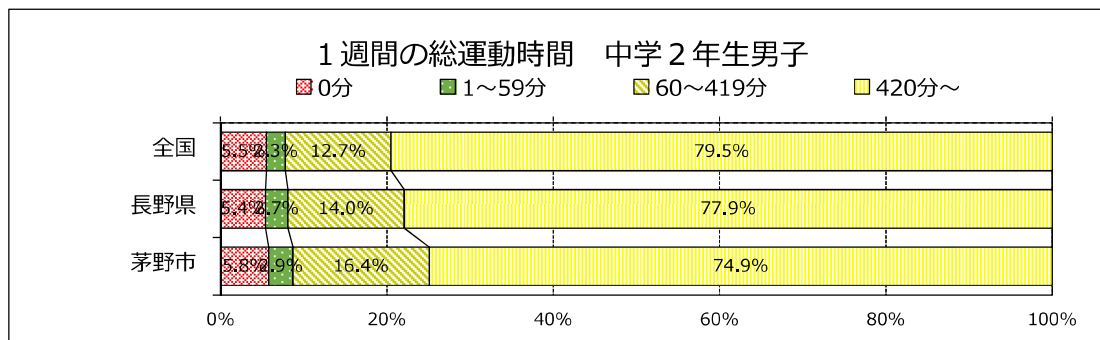
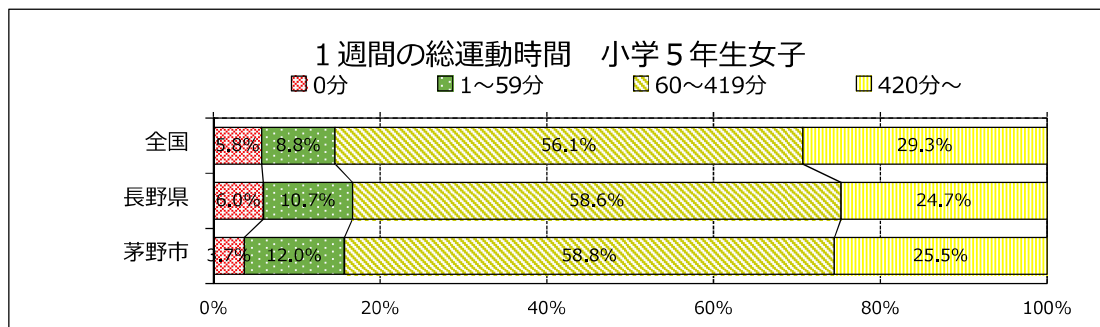
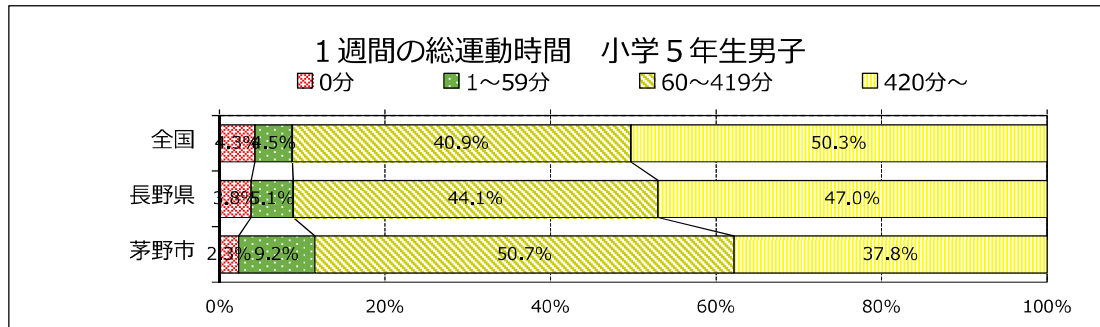
文部科学省が全国一律で行う「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」において実施する8種目（握力、50m走、ボール投げ、上体起こし、長座体前屈、反復横跳び、20mシャトルラン、立ち幅跳び）を点数化して合計し、合計点を良い方からA B C D Eの5段階で評定した体力の総合評価。

茅野市の小学5年生男女の値が全国平均よりも低くなっている要因については、茅野市では体力テストを1学期に実施しましたが、全国的には2学期に実施する自治体が多いため、茅野市の結果が低く出ていると考えられます。

○ 運動をする子どもとしない子どもの二極化

子どものスポーツ実施については、学校体育の授業以外では各種スポーツクラブや学校の部活動がメインとなりますが、スポーツをする子どもとしない子どもの二極化が進んでいます。1週間の総運動時間が1時間未満の子どもの割合について、茅野市は小学生・中学生ともに全国平均よりも多くなっています。

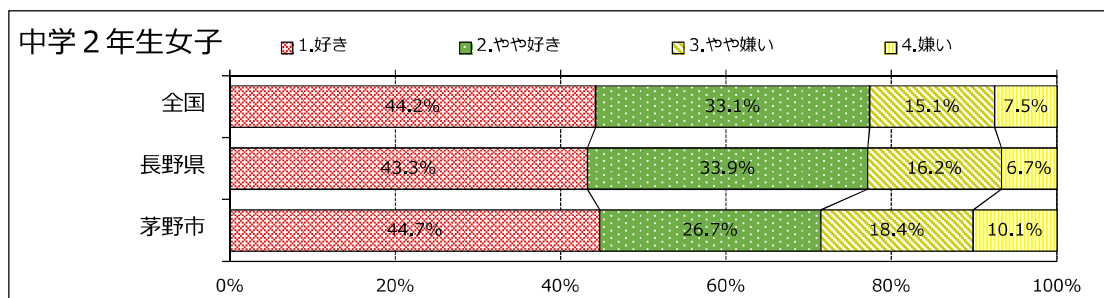
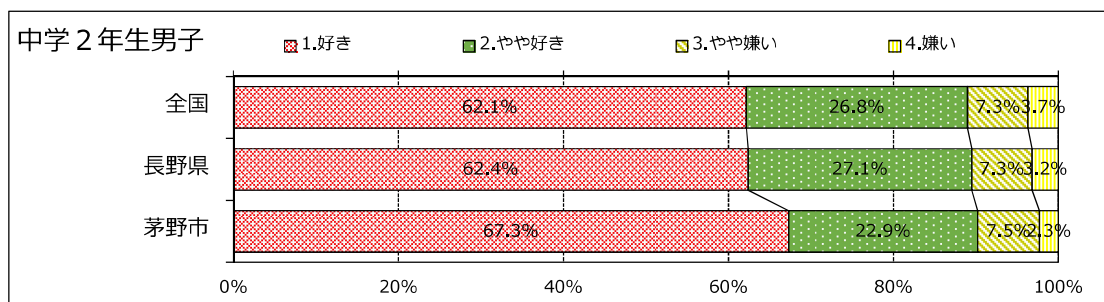
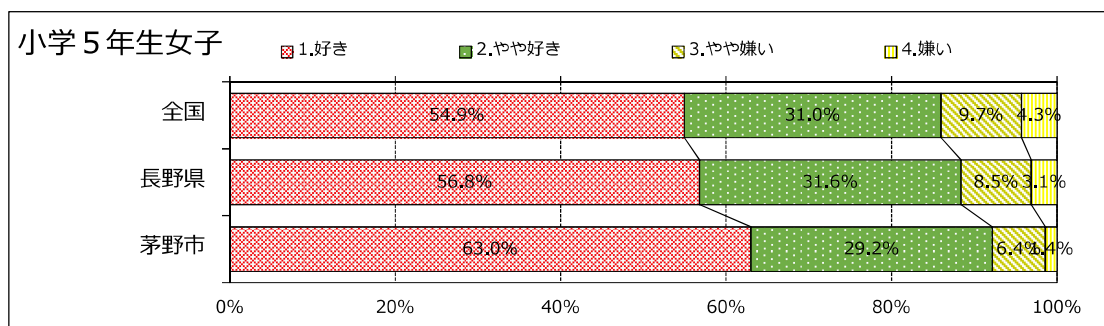
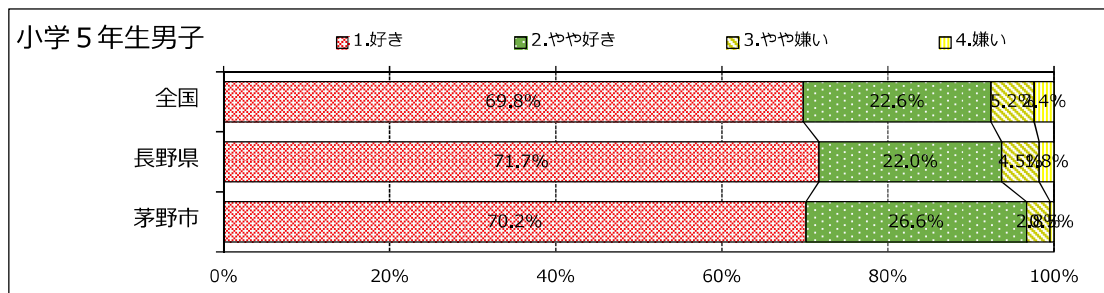
令和4年度（2022年度）全国体力テストのアンケート結果



○ 成長とともに運動やスポーツに嫌悪感の持つ子どもの割合の増加

小学5年生と中学2年生を比較すると、運動・スポーツに対して嫌悪感を持つ子どもの割合が男女ともに中学2年生のほうが多くなっています。特に茅野市の中学2年生女子は「やや嫌い」と「嫌い」を合計すると28.5%となっており、全国平均及び長野県平均よりも多くなっています。

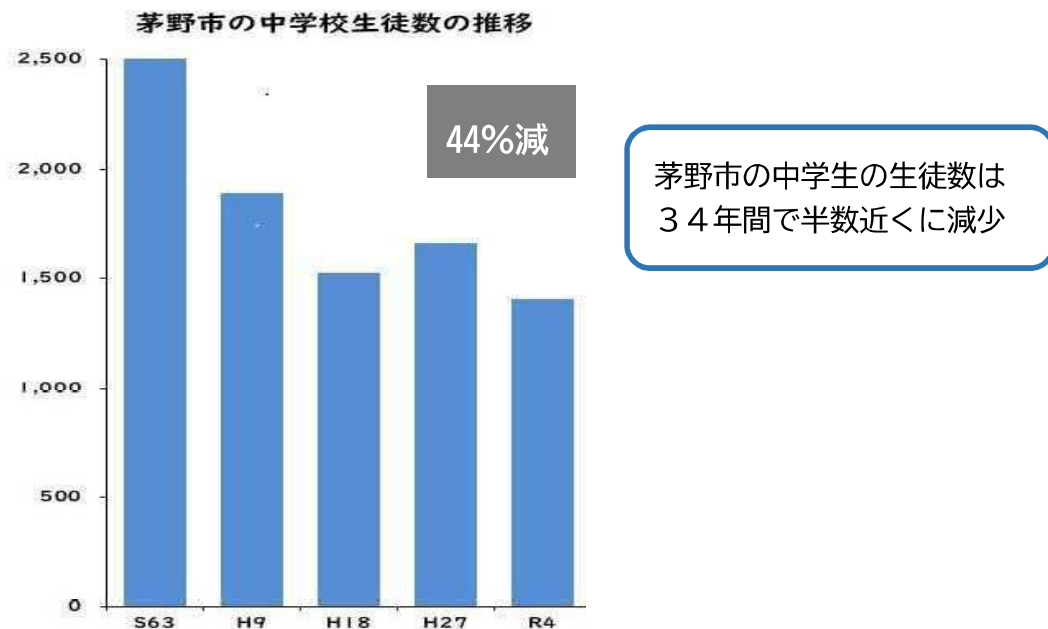
令和4年度（2022年度）全国体力テストのアンケート結果から抜粋
【質問】運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか？



○ 少子化による中学校の運動部活動の状況

生涯スポーツの契機であり、中学校における生徒の自主的で多様な学びの場として教育的意義があった運動部活動ですが、少子化の進展により存続が危ぶまれる状況にあります。茅野市内の中学校でも単独校ではメンバーが集まらず、他校との合同部活により存続するか、場合によっては休部となる部活動が現れています。また、専門性のある指導者の不足、部活動指導による教職員の長時間勤務の問題等により、今まで学校が主体として担ってきた部活動の形態を見直し、地域が主体となる新たなスポーツ環境の構築を目指す必要があります。

中学校の部活動の地域移行（※3）についてはスポーツ庁・文化庁から2022年にガイドラインが示され、全国の自治体で取り組む課題となっています。



- ◇生徒数の大幅な減少により、学校単位では部活動が成り立たない。
- ◇部活動数の減少により、子どもたちがやりたい活動を諦めざるを得ない状況。
- ◇教員の長時間勤務が深刻化

※3「部活動の地域移行」とは

これまで学校教育の一環として教員が担っていた部活動の指導を地域のスポーツクラブや民間事業者、外部団体などが担うようにする取組です。

1-2 施策の展開

○ 幼児期からの運動の習慣化

取組内容	実施主体
幼児期から全身と五感を使った遊びや自然の中での遊びの楽しさを感じることができるよう、各種取組を通じて幼児期からの運動を普及していきます。 ・ 幼児運動教室（4歳・5歳）の実施 ・ スポーツや運動に苦手意識を持つ子を対象とした運動・スポーツ教室の実施（小学生） ・ 障害のある子どもを対象にした教室の実施 ・ 保育園における屋内外の体を使った遊びの取組 ・ 保育園での「柳沢運動プログラム」の導入、活用 関連計画 茅野市教育大綱 茅野市こども・家庭応援計画	スポーツ健康課 スポーツ推進委員 スポーツ健康課 幼児教育課

○ 子どものスポーツ活動への参加促進

取組内容	実施主体
子どもがスポーツの楽しさや充実感を実感できるように、学校体育以外でも全ての子どもが運動やスポーツができる環境を保障し、各種スポーツへの参加をサポートしていきます。 ・ 茅野市スポーツ少年団への支援及びスポーツ少年団の活性化 ・ 各スポーツチームや各種教室の主催、後援、案内 ・ 競技人口増大に向けた取組 ・ 子どもが運動やスポーツに親しむことを目的としたイベント等の企画 関連計画 茅野市教育大綱 茅野市こども・家庭応援計画	スポーツ健康課 スポーツ少年団 スポーツ健康課 スポーツ協会 スポーツ少年団 スポーツ健康課 スポーツ推進委員
・ 学習指導要領の趣旨を踏まえた授業づくり 関連計画 茅野市教育大綱 茅野市こども・家庭応援計画	学校教育課

・長野県版運動プログラムの普及	幼児教育課 学校教育課 スポーツ健康課
-----------------	---------------------------

○ 中学校の運動部活動の地域移行

取組内容	実施主体
中学校の運動部活動の地域クラブ活動への移行に向けて、まずは休日の活動から着手し、学校、行政、各種地域団体との連携・協働による地域を拠点としたスポーツ環境づくりを進めていきます。そのことにより教職員の労働環境の改善に努めます。 中学校の運動部活動は生涯スポーツの契機であり、地域スポーツの根幹であることから、中学校の運動部活動の地域移行については、長期的な視野に立ち、中学生期だけにとどまらない、地域全体の課題として取り組みます。	
・休日の中学校の運動部活動の確実な地域移行 ・部活動指導員及び地域クラブの指導者の確保及び質の向上 ・合同部活等の柔軟な運営	学校教育課 スポーツ健康課 スポーツ関連団体



1-3 達成目標

指標名		現状 (2022 年度)	目標 (2028 年度)	備考
運動やスポーツをすることが好きな子どもの割合 (中学2年生女子)		71.4%	80.0%	・80%はR3全国1位の水準。 【全国体力・運動能力、運動習慣等調査(スポーツ庁)】 ・茅野市の中学2年生女子が運動やスポーツを好きと回答した割合は全国平均及び長野県平均よりも低かったため、中学2年生女子のみ目標に設定しました。小学5年生男子・女子、中学2年生男子は全国平均及び長野県平均よりも上回っており、引き続き維持していきます。
体育授業以外の1週間の運動実施時間が60分未満の子どもの割合	小学5年生男子	11.5%	7.0%以下	過去5年間の全国平均(7.7%)の水準を下回ることを目指す。 【全国体力・運動能力、運動習慣等調査(スポーツ庁)】
	小学5年生女子	15.7%	12.0%以下	過去5年間の全国平均(12.7%)の水準を下回ることを目指す。 【全国体力・運動能力、運動習慣等調査(スポーツ庁)】
	中学2年生男子	8.7%	7.0%以下	過去5年間の全国平均(7.1%)の水準を下回ることを目指す。 【全国体力・運動能力、運動習慣等調査(スポーツ庁)】
	中学2年生女子	18.1%	17.0%以下	過去5年間の全国平均(18.8%)の水準を下回ることを維持する。 【全国体力・運動能力、運動習慣等調査(スポーツ庁)】

2-1 主な現状と課題

○ スポーツ実施率

長野県の成人の週1日以上スポーツ実施率は、2017年度以降上昇傾向にあり、2021年度には初めて6割を超えました。運動・スポーツを週に1日以上できなかった理由は「仕事や家事が忙しいから」が最も多くなっており、働く世代や子育て世代がスポーツに参加しやすくなるような取組が必要です。

指標名		2018	2019	2020	2021
成人の週1日以上 運動・スポーツ実施率	全国	55.1%	53.6%	59.9%	56.4%
	長野県	56.3%	57.1%	57.3%	60.8%

出典：長野県政モニターアンケート

○ 身近な場所でスポーツに親しめる環境の促進

誰もが気軽にスポーツに参加できるように、スポーツ推進委員、各地区のスポーツリーダーや公民館並びに各種地域スポーツクラブと連携して、スポーツをする機会の創出や普及を促進する必要があります。

○ 障害者スポーツの参加機会の拡大と理解促進

障害者スポーツの体験会や障害者アスリートとの交流会等を通じて、障害者スポーツの参加機会の拡大や理解の促進を図り、障害の有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら、支え合う共生社会づくりに取り組む必要があります。

○ 健康長寿社会に向けた運動・スポーツによる健康づくり

体を動かす楽しみを通じ、生活習慣病予防、医療費の抑制、フレイル（※4）・介護予防等の観点から、高齢者の運動・スポーツを通じた健康づくりへの期待が高まっています。

また、新型コロナウイルス感染症の影響で様々な社会活動が制限を受けたことにより、高齢者の体力の低下やストレスの増加といった心身の健康への悪影響が生じており、社会活動の再稼働により心身の健康増進へ取り組んでいく必要があります。

※4 フレイルとは、健康な状態と要介護状態の中間に位置し、身体的機能や認知機能の低下が見られる状態。

2-2 施策の展開

○ 親子参加型スポーツ体験の充実

取組内容	実施主体
休日などに親子で参加できるスポーツ機会を増やし、親子で楽しみながら運動するきっかけづくりと、子育て世代の生涯スポーツにつながる運動機会の提供を図ります。	スポーツ健康課 スポーツ推進委員 スポーツリーダー

○ 身近な場所で気軽にスポーツを行う取組

取組内容	実施主体
誰もが気軽にスポーツに参加できるように、ニュースポーツなどの軽スポーツの普及と環境整備を図ります。また、そのことを通じて人や地域の交流を促進します。	スポーツ健康課 スポーツ推進委員 スポーツリーダー 生涯学習課 スポーツ健康課
・スポーツ推進委員、スポーツリーダー等を通じたニュースポーツ等の普及活動	
・公民館活動との連携	
関連計画 茅野市社会教育推進計画	

○ 障害者スポーツの参加機会の拡大と理解促進

取組内容	実施主体
障害のある子どもを対象に様々なスポーツに親しむ機会を提供します。併せて、障害のある子どもの保護者を対象にスポーツを行う意義の啓発を行い、保護者のスポーツに対する意識改革を図ります。	スポーツ健康課 地域福祉課 地域福祉課 スポーツ健康課 地域福祉課 都市計画課 スポーツ健康課
また、障害者がスポーツの楽しさを体験し、体力の維持増強を図ることで、障害者の社会参加を促進します。障害の程度や種類に応じて必要な配慮がなされるよう、障害者への理解と認識を深めます。	
・障害のある子どもを対象にした運動・スポーツ教室の実施	
・障害者スポーツ大会の開催	
・障害者のスポーツに関する相談、支援	
・スポーツ施設や近隣公園等のバリアフリー化及びユニバーサルデザイン化	

関連計画 茅野市障害者保健福祉計画

○ 高齢期のスポーツ活動の促進

取組内容	実施主体
フレイル・介護予防の観点から、高齢者が体を動かす楽しみを実感できるように、高齢者がスポーツ活動に積極的に参加できるように支援します。	
・ 高齢者向けのスポーツ教室の開催 ・ 介護予防事業の実施 ・ 健康熟年大学の実施	高齢者・保険課 スポーツ健康課
・ ウォーキングやトレッキングの普及	高齢者・保険課 健康づくり推進課 スポーツ健康課

関連計画 茅野市高齢者保健福祉計画

2-3 達成目標

指標名	現状 (2021 年度)	目標 (2028 年度)	備考
成人の週 1 回以上の運動・スポーツ実施率	38.2% (推計値)	42.0%	2021 年度の推計値については、2016 年度に実施した茅野市民アンケートでの値を基に、長野県政モニターアンケート調査結果を加味して算出しました。 今後、市民アンケート等により実績値を捕捉し、目標値を修正します。



3-1 主な現状と課題

○ 茅野市スポーツ推進委員の活動

茅野市スポーツ推進委員（※5）により、誰もが気軽に楽しめるスポーツの普及を目的に各種教室の開催やサポートを通じて、スポーツに親しむための普及活動が行われています。また、各地区、保育園、小学校等の依頼によりニュースポーツ教室等を開催し、幼児から高齢者まで生涯スポーツの普及に寄与しています。

※5 スポーツ推進委員とは、スポーツ基本法第32条に規定され、スポーツの推進を図るため、市から委嘱を受けて活動する非常勤公務員であり、スポーツ推進のための事業の実施に係る連絡調整並びに住民へのスポーツ実技の指導や助言を行います。

○ 茅野市スポーツリーダーの活動

各地区のスポーツ推進役として、スポーツリーダーが地区コミュニティスポーツ教室を開催し、地域住民のスポーツを通じた健康増進に寄与しています。しかしながら、参加者の減少やスポーツリーダーの高齢化に伴う担い手の減少により休会となる地区も出始めています。

○ NPO法人茅野市スポーツ協会の活動

茅野市の地域スポーツの中核を担う組織としてNPO法人茅野市スポーツ協会が存在し、競技スポーツ毎に各々の協会が参画しています。事業活動として大会や教室等が開催され、各競技の普及、競技力の向上が図られています。地域スポーツの興隆に向け、今後の事業展開に期待が寄せられています。

○ スポーツ施設の整備（適切な維持管理、施設の長寿命化）

茅野市運動公園は昭和50年代から平成初期に整備され、現在、各施設は建設から40年以上が経過し、老朽化が顕著となっており、施設の適切な維持管理や長寿命化が喫緊の課題となっています。

また、誰もが安心してスポーツ活動に取り組めるようにバリアフリー化やユニバーサルデザイン化の環境整備を進めていく必要があります。

さらに、茅野市運動公園は長野県の広域防災拠点に指定されていることから、災害時への対応を兼ね備えた施設整備も併せて進めていく必要があります。

しかしながら、茅野市の財政状況は硬直化が進んでおり、今後のスポーツ施設の在り方について行財政改革を踏まえた全市的な議論は避けられません。

○ 市民に親しまれる公園としての環境整備

茅野市運動公園は各スポーツ施設の集積地としてだけでなく、市街地に隣接しながら緑地に囲まれた公園として、多くの市民の憩いの場となっています。日本リス等が生息することでも注目されており、豊かな自然環境を保護していくことも求められています。

○ 学校開放事業を始めとした公共施設の有効活用

茅野市内では各種スポーツ団体やサークルを中心に多くの市民がスポーツ施設を利用し活発に活動していますが、土日祝日や平日夜間は需要過多となり施設を利用できないという状況も散見されます。

市内の小中学校の学校開放事業や近隣公園の利用について、有効活用を進めていく必要があります。



3-2 施策の展開

○ スポーツ推進委員及びスポーツリーダーの認知向上

取組内容	実施主体
スポーツ推進委員及びスポーツリーダーの活動の認知向上に向けた取組を通じて、市内のスポーツ活動の普及促進や地域住民の交流を促進していきます。 ・市内各種イベントへの出展、出前講座 ・スポーツ推進委員及びスポーツリーダーの資質の向上 ・スポーツ推進委員及びスポーツリーダーの次世代の育成	スポーツ推進委員 スポーツリーダー スポーツ健康課

○ NPO法人茅野市スポーツ協会を中核としたスポーツ関連団体の活動の活性化

取組内容	実施主体
NPO法人茅野市スポーツ協会が中核となり、各種スポーツ関連団体が連携したり、活動を活性化することで、地域にスポーツ文化が根付いていくことを図ります。そのことにより、スポーツ人口が増えていき、それに伴いスポーツの指導者が増え、スポーツ文化の裾野が広がっていくことを目指します。 また、スポーツを通じて、世代を超えた交流の場を創出していきます。 ・各種スポーツイベントの開催 ・スポーツ人口の増による、指導者となる層の育成	スポーツ協会 スポーツ健康課

○ 各種スポーツ団体等による競技力向上

取組内容	実施主体
各種スポーツ団体等により競技力向上に向けた活動が活性化することで、地域からトップアスリートが育つことを目指します。 ・競技力向上に向けた体制整備 ・指導者養成 ・成績優秀者の表彰	スポーツ協会 スポーツ関連団体

○ スポーツ施設の計画的な修繕

取組内容	実施主体
茅野市運動公園内の各施設は老朽化が顕著となっており、計画的に修繕を行っていき、施設の長寿命化を図ります。 ・茅野市運動公園の長寿命化計画の策定、進捗管理 関連計画 茅野市公共施設等総合管理計画	スポーツ健康課 都市計画課 企画課

○ スポーツ施設の在り方についての議論

取組内容	実施主体
人口減少を見据えた行財政改革の取組として、施設の統廃合についても市民との対話を交えながら検討していきます。 また硬直化が進展する茅野市の財政状況を考慮し、利用者負担の在り方等について検討していきます。	
・ 行財政改革への取組 関連計画 茅野市行政経営基本計画	企画課 スポーツ健康課
・ 利用者負担増の検討	財政課 スポーツ健康課
・ 民間企業との連携促進の検討 (ネーミングライツ、企業版ふるさと納税等)	財政課 地域創生課 スポーツ健康課

○ 市民に親しまれる公園としての環境整備

取組内容	実施主体
スポーツ施設だけではなく、市民の憩いの場としての茅野市運動公園の環境整備を進めていきます。	
・ 計画的な間伐、植栽による環境保護 ・ オープンスペースの環境整備	スポーツ健康課
・ 利用者と管理者の共同開催による美化活動の開催	スポーツ協会 スポーツ健康課

○ 公共施設の有効活用

取組内容	実施主体
茅野市運動公園の施設に限らず、学校施設や都市公園等を有効活用し、市民のスポーツ活動を促進していきます。	
・ 学校施設及び都市公園の整備 ・ 学校開放事業の有効活用	学校教育課 都市計画課

○ 公共施設の利便性の向上

取組内容	実施主体
茅野市運動公園等の施設利用の利便性を向上させることで、利用者の満足度を上げ、利用の促進を図ります。	
・ インターネット予約システムの改良 ・ 電子マネー等の導入による使用料納付の利便性向上	D X推進課 スポーツ健康課

3-3 達成目標

指標名	現状 (2022 年度)	目標 (2028 年度)	備考
スポーツ施設の年間利用者数（茅野市運動公園及び近隣公園）	229,366 人	300,000 人	コロナ禍前（2019 年度） 276,364 人



4-1 主な現状と課題

○ スポーツ合宿の誘致を通じた地域経済の活性化

白樺湖・車山周辺で高地トレーニングをするスポーツ選手やチームが全国大会で活躍するほか、冷涼な気候を求めて夏季は茅野市内の宿泊施設を利用しながら合宿する団体が数多くあります。スポーツを資源として有効活用することで、地域経済の活性化が期待されています。

○ 地域の独自の魅力を通じたスポーツの活性化

八ヶ岳や蓼科高原を有する地域の魅力を活用し、登山やトレッキング等の山岳スポーツや、寒冷な冬季の気候により受け継がれてきたスキーやスケートを中心としたウィンタースポーツの興隆を図っていくことで、健康増進のみならず地域経済の活性化が期待されています。

○ 2028年国民スポーツ大会（国スポ）・全国障害者スポーツ大会（全障スポ）をはじめとした各種スポーツイベントの開催に向けた取組

茅野市は2028年の信州やまなみ国スポでは軟式野球、全障スポではフライングディスクの競技会場に内定しています。

全国から選手や関係者が来訪することから、大会に向けた市内の機運を醸成していくとともに、スポーツによる交流を広げて、様々な交流が行われることを準備していく必要があります。

同様に各種スポーツイベントの開催を通じて、スポーツにとどまらない交流事業や地域活性化を図る必要があります。

4-2 施策の展開

○ スポーツ合宿の誘致を通じた地域経済の活性化

取組内容	実施主体
宿泊事業者等と連携したスポーツ合宿の誘致を促進し、地域経済の活性化に繋がります。 ・合宿誘致のためのニーズの調査 ・事業者との連携 ・地元スポーツ団体との交流促進	観光課 ちの観光まちづくり推進機構 スポーツ健康課

○ 地域の独自の魅力を通じたスポーツの活性化

取組内容	実施主体
山岳地域にある地理的な魅力を活用し、山岳スポーツの興隆を図ることで、健康増進や地域経済の活性化を目指します。 また、寒冷な気候により受け継がれてきたウィンタースポーツを次世代にも継承し、魅力を発信します。	
・山岳関連事業者等と連携した山岳スポーツの魅力発信及び環境整備	観光課 ちの観光まちづくり推進機構
・スケート文化の継承	スポーツ健康課 スポーツ協会 学校教育課
・スキー等のウィンタースポーツを通じた地域の魅力発信	観光課 ちの観光まちづくり推進機構 スポーツ健康課 スポーツ協会
・スポーツ体験等を含んだ教育旅行の誘致	観光課 ちの観光まちづくり推進機構 スポーツ健康課

○ 2028年国民スポーツ大会（国スポ）・全国障害者スポーツ大会（全障スポ）をはじめとした各種スポーツイベントの開催に向けた取組

取組内容	実施主体
2028年国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会では全国から選手や関係者が来訪することから、大会に向けた市内の機運を醸成していくとともに、スポーツにとどまらない様々な交流事業を準備していきます。	

同様に、各種スポーツイベントの開催を通じて交流事業や地域活性化を図ります。	
・大会開催にむけた会場整備 ・市民の機運醸成 ・スポーツによる交流の促進及び地域経済の活性化	スポーツ健康課

4-3 達成目標

指標名	現状 (2023 年度)	目標 (2028 年度)	備考
スポーツ合宿の誘客数 (茅野市運動公園施設の合宿による利用者)	31 団体 延べ 2,883 人	40 団体 延べ 4,500 人	2019 年度（コロナ禍前） 31 団体 4,099 人 ※2020～2022 年度の合宿 利用の実績無し



第4章 計画の推進

推進体制

スポーツ関連団体、保育園関係者、学校関係者、高齢者関係者、障害者関係者等で構成する「茅野市スポーツ推進協議会」を設置し、この計画を効果的に推進します。

計画の進行管理

計画の進行管理に当たっては、「茅野市スポーツ推進協議会」において、目標値の達成状況の確認や施策の取組状況の検証等を行います。

これらの進捗状況により、「茅野市スポーツ推進協議会」において、必要に応じて修正等を行っていきます。

スポーツの実施状況等の調査

この計画に関する施策を効果的に推進するため、市民のスポーツの実施状況や意識について、必要に応じて調査を実施します。

調査結果は、広報、ホームページ等に掲載し、地域スポーツの推進に活用していきます。

茅野市スポーツ推進協議会（「第2次茅野市スポーツ推進計画」策定メンバー）

名簿

所属	役職	氏名	その他
スポーツ協会	会長	宮坂 章	バスケットボール
〃	副会長	澤井 久一	バレーボール
〃	〃	中澤 三郎	マレットゴルフ
〃	〃	竹内 ひかり	弓道
スポーツ少年団	本部長	鷹野 鉄也	少林寺拳法
スポーツ推進委員	委員長	田中 正治	
北部中学校	校長	北澤 孝郎	
東部中学校	校長	濱 喜一郎	
米沢小学校	校長	小口 政英	
玉川保育園	園長	前島 敦子	
P T A連合会	会長	小倉 誠司	
保育園保護者会	会長	湯田坂 光祐	
健康福祉部	高齢者・保険課 高齢者福祉係長	平林 健児	高齢者関連
〃	地域福祉課 障害福祉係長	清水 利恵	障害者関連
教育委員会	教育長	山田 利幸	
生涯学習部	部長	上田 佳秋	
〃	スポーツ健康課長	河西 茂廣	
〃	スポーツ健康係長	松田 剛史	

第2次茅野市スポーツ推進計画

2024 - 2028

長野県茅野市教育委員会事務局

(生涯学習部 スポーツ健康課)

〒391-0011 長野県茅野市玉川500番地

TEL (0266) 72-8399

sports@city.chino.lg.jp

<https://www.city.chino.lg.jp>